

図書館
展示

Musicolor

— 音と色の祭典 —

2020年11月24日(火)~



音楽情報研究発表会関連 学生展示

音と色には一体どのような関係があるのだろうか。楽器や音符には、色が付いているものがある。音を聞くと色を感じる人がいる。ドレミに色を付けることの普遍性や歴史はどのようなものだろうか。

本展示は、研究発表会のテーマである「音と色」について紹介するものである。耳で感じる「音」と目で感じる「色」には、波の性質を持っているという共通点があり、音や光は周波数(波長)によってどんな高さの音が鳴るか、何色に見えるか決まる。波であるという共通点を持っているにも関わらず、音と色の関係について、ふとした瞬間に感じることはあっても真剣に考えることは少ないのではないだろうか。

展示を見ながら、音と色の関わりについて知り、考えてみて欲しい。

2020年度 専門ゼミⅠ・Ⅱ
(音楽情報専修、音楽学コース、音楽情報社会コース)



期間中、4号館図書館エントランスにて展示中！

■展示資料

色のついた音符

音符を色で表現した「色音符」が用いられることがあり、色音符を用いた楽譜は「色彩楽譜」などと呼ばれます。音を視覚的なイメージとして捉えることができるため、耳の不自由な方にも音楽を鑑賞していただく方法のひとつでもあります。

資料①

書名/著者：金子みすゞの色彩楽譜 / 小谷秀行著
請求記号：J133-486
資料 ID：J133486

資料②

書名/著者：いろおんぷ：ピアノとうたのおけいこに. 新訂第1集（付録付） / たなかすみこ
請求記号：G16-756
資料 ID：G016756

色と楽器

それぞれの音に色が付けられたカラフルな楽器(色彩楽器)があります。色彩楽器を使用する楽器として有名なのはスクリャービンの《プロメテウス—火の詩》で、「色光ピアノ」とよばれる鍵盤楽器の体裁をした装置で、打鍵によって音ではなく、それぞれの鍵盤に対応する色の光を出すことを想定した楽器が用いられることを理想として作曲されました。これは《プロメテウス—火の詩》のスコアの表紙です。スクリャービンは、表紙絵が神秘主義のシンボルをもつ作品の標題的内容を表すものであることを切望したそうです。

資料③

書名/著者：Poem of ecstasy ; and, Prometheus : Poem of fire / Alexander Scriabin ; notes by Faubion Bowers.
請求記号：H35-577
資料 ID：H035577

共感覚

作曲家のアレクサンドル・スクリャービンやフランツ・リストは、共感覚の持ち主として知られています。本来、刺激があるとそれぞれの感覚器官によって感知して処理しますが、共感覚は、五感が分別化されておらず全感覚的です。例えば、音を聞いたり数字や文字を見たりすると色が思い浮かぶ感覚を共感覚といいます。研究発表会では、主に音を聞くと色が浮かぶ共感覚を扱い、共感覚とは何か、共感覚を持つ人にはどのような世界が広がっているのかということに迫ります。

ドレミパイプ(Boomwhackers)

色彩楽器は音楽教育の場でも用いられることがあります。チューブ型のパーカッション楽器であるブームワッカーはアメリカで生まれました。あらかじめ調律されたプラスチック製の柔らかなパイプは、リズムに合わせて演奏することでメロディーを奏でることができます。演奏方法は、パイプを手にとって膝や太もも、机や床を叩くことで誰でも気軽に演奏することができます。直感的に演奏できるため、子供たちが遊びの中で楽しくリズム感と音感を学ぶことができ、全世界で知育楽器として評価が高く、優れた玩具に贈られる賞の数々を受賞しています。研究発表会ではドレミパイプを実際に演奏します。

資料④ドレミパイプ2本

オペラの衣装

オペラの衣装には、作品成立当初から長い間伝統的に受け継がれてきたものや、現代演出が生み出した画期的なものなど、多種多様なものがあります。

資料⑤

書名/著者：パリ国立オペラ座衣装展 / 東京都庭園美術館編集

請求記号：J111-883

資料 ID：J111883

音をアクセサリーに

このアクセサリーは、デザイナーである福村彩乃が音楽を感じて様々な色に輝くガラスに反映させて作り出したものである。

Profile

リフレクトアート株式会社 代表取締役

ayano fukumura デザイナー 福村彩乃

幼少時から、ロンドン・スイス・ハンガリーなどでピアノの演奏活動を行う。

2006年 桐朋学園大学 音楽学部演奏学科 ピアノ専攻卒業

2011年 東京藝術大学大学院音楽研究科音楽文化学専攻 博士前期課程修了

3つ年下の妹の病死をきっかけに、家族の趣味だったガラスを仕事にしたいと一念発起。

2012年 東京藝術大学大学院 美術研究科工芸専攻 ガラス造形研究分野研究生

2013年 ピアノ曲の世界をイメージしたガラスアクセサリーブランド「ayano fukumura」をスタート。

共感覚についてどう考えているのか、福村さんが考える「色と音の関係」とは一体どのようなものか。ぜひ研究発表会でお伝えしたい。

資料⑥アクセサリー

Debussy “Clair de Lune” ドビュッシー「月の光」 / ayano fukumura

クロード・ドビュッシー(1862年-1918年)が作曲した「月の光」をイメージして制作されました。独自の手法でガラスを組み合わせて焼き溶かし、研磨して作った1点もののアクセサリーです。

色にちなんだ音楽

クラシック音楽の作品の中に、「色」に関連した名がタイトルにある曲は一体何曲あるのでしょうか。『クラシック音楽作品名辞典 第3版』2005年発行のものを元に調べた結果を一部紹介します。

『クラシック音楽作品名辞典』に掲載されている作品名総数 45,200のうち、色に関連するタイトルを持つ曲は187曲でした。

音楽史の時代区分内での集計

順	時代区分		計
1	ロマン	1820~1900	82
2	現代	1900~	79
3	バロック	1600~1750	14
4	ルネサンス	1420~1600	5
5	中世	5世紀頃~	4
6	古典	1750~1820	3

演奏形式による分類分けのうち、曲名に色を持つもの

- 1 位 歌曲 74 曲
- 2 位 ピアノ曲 16 曲
- 3 位 歌劇 13 曲

タイトルに使われている色の内訳

曲数順		計
1	白	41
2	金	30
3	黒	26
4	赤	22
5	青	19
6	緑	14
7	銀	8
8	灰	5
9	茶	5
10	深紅・真紅	3

11	薔薇色	3
12	黄	2
13	栗色	3
14	亜麻色	2
15	水色	1
16	空色	1
17	小麦色	1
18	褐色	1
19	朱色	1
20	エメラルド	1

(図作成：林治世子)

研究発表会では更に掘り下げたものをご紹介します。

■第36回 音楽情報 研究発表会

2020年12月10日(木) 国立音楽大学6号館110スタジオ
開場17時半 開演18時

今回の展示は企画・資料の選定・解説の執筆を学生が行いました。

このパンフレットは学生が執筆した解説を図書館員がレイアウトし作成しました。

<https://www.lib.kunitachi.ac.jp/>

2020.11 国立音楽大学附属図書館

